

ぬくもりある東区・札幌

アフターコロナ見据えたまちづくりへ

すすき健雄が皆さんの疑問にお答えします！

1 新型コロナウイルスで打撃を受けた 経済を再生するには、どうしたらよいでしょう？

鈴木 度重なる緊急事態宣言、まん延防止等重点措置により、飲食店や観光業、その取引先などは大きなダメージを受けました。インバウンドの回復が見通せない中、各地から観光客を呼び込むためのイベントの開催や、個人消費拡大に向けた大胆な需要喚起を継続的に講じなければなりません。企業の存続を図るため、国は雇用調整助成金や月次支援金を給付していますが、金融機関から多額のコロナ対応融資を受けたものの、売り上げが回復せず、資金繰りに窮する中小企業が増加傾向にあるのも事実です。賃上げ施策などの支援策を道や国に早急に要望します。

2 記録的な大雪で市民生活への影響が甚大！ この先も心配ですが、大丈夫ですか？

鈴木 札幌市では令和2年度から持続可能な雪対策として「新たな除雪方法」を試行しています。その背景には、除雪作業で玄関前に残される雪への苦情が多く寄せられることに加え、除雪従事者の減少で夜間一斉出動ができなくなったり、高齢化により自力での雪処理が困難になったりすることなどが挙げられます。昨シーズンは降雪量も少なく、新方式を評価する声もありましたが、今年は記録的な大雪のため、多くの道路渋滞、バスなど

のダイヤの乱れが発生しました。今回の反省を踏まえ、持続可能な除排雪基準の明確化に早急に取り組んでいきます。(4面参照)



3 認知症の方による事故が増えていますが、 どのように対策を進めるのですか？

鈴木 札幌市は全国でも屈指の少子高齢化都市であり、近年、認知症患者による事故やトラブルが増加しています。認知症にやさしいまちづくりを進める兵庫県神戸市では、65歳以上の市民が無料で診断を受けられる助成制度や、認知症の方が外出時に事故に遭われた場合の救済制度があり、「神戸モデル」として高い評価を集めています。こうした地域で実践されている省力化と認知症改善を両立する科学的認知症ケアを参考に、助成・救済制度を創設するなど、誰もが安心できる認知症対策を全力で推進します。

市議会自民党議員会、 札幌市東区連の重点政策

◆全市的課題

- ・新型コロナウイルス感染症対策の推進と、経済再生への支援強化
- ・冬季観光の新たな魅力創出と、観光産業への営業支援強化
- ・2030年冬季五輪・パラリンピック札幌招致
- ・新幹線開業を見据えた創成東地区の新交通システムの確立
- ・丘珠空港の滑走路延長、防災拠点化早期実現
- ・洪水・土砂災害に対する指定緊急避難所の拡充と浸水対策
- ・パートナーシップ排雪制度の抜本的見直し
- ・児童虐待撲滅への人員体制強化と地域・関係機関との連携強化
- ・保育人材確保と就労継続のための支援強化
- ・ひとり親世帯への支援・子どもの貧困対策促進
- ・敬老優待乗車証(敬老パス)のJR利用実現

◆東区の課題

- ・128号線～275号線の直線化
- ・モエレ沼周辺道路の片側2車線化
- ・高速雁来インター・国道275号交差点及び雁来大橋の渋滞緩和
- ・創成川東地域開発に伴う鉄東地区の再開発
- ・札幌新道・高速道札幌北インターから都心部へのアクセス道路の早期実現



JRが発表した新幹線札幌駅の外観イメージ

丘珠駐屯地の皆さんによって 「空の玄関口」と平和が守られています。

今冬、札幌は過去に例をみないような災害的ともいえる大雪でした。札幌飛行場(丘珠空港)は札幌市と道内外を結ぶ航空ネットワークの拠点で、防災・医療・報道・測量・航空写真・遊覧飛行などの幅広い業務にも利用されています。札幌飛行場の平均積雪量は596cm。これは千歳空港の3.7倍、新潟空港の7倍です。丘珠駐屯地では11～3月には除雪隊が組織され、24時間体制で飛行場内の除雪が行われています。

今回の記録的な大雪と戦っているさなかに飛び込んできたロシアのウクライナ侵攻のニュース。根室市と北方領土の距離はわずか3.7km。他人事とは思えないロシアによる軍事侵攻によって駐屯地の空気は凍りついたことでしょう。

ロシアが不法占拠している北方領土には、すでにロシア軍の高性能な地对空ミサイル、艦艇攻撃用ミサイルが配備され、新型戦闘機までが常駐しているといわれ、ますます実効支配を強めています。今の時代にまさかという現実。隣国にこのような国が存在するという事を直視しなければなりません。ウクライナのゼレンスキー大統領は「自国は自分たちで守ると。それがあって初めて周りの応援が来る」と言っています。まさに他人事ではありません。

安心・安全も平和も空気のようにそこにあるのではなく、努力がなければ存在しないということ。有事の時、誰かが守ってくれるだろうというのではなく、自分の身を自分で守る知恵と強い気持ちを一人一人が持たなければならないということでしょう。政府においては基本的な安全保障政策、中でも戦略や安全法制について、議論を深めてもらうよう期待します。



丘珠駐屯地協力会会長として除雪隊への激励あいさつ

「コロナ禍においても、患者輸送やワクチン接種会場の運営など、自衛隊の皆さんの大変な活躍ぶりを連日、目にします。『ことに臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に努め、もって国民の負託にこたえる』という崇高な使命を持つ自衛隊に対する理解と期待、信頼はかつてないほど高まっております」

ベッソノバさん どうか無事でいてください。 ウクライナ避難民へ支援の輪を

2月24日、ロシアがウクライナに侵攻し、戦禍は激しさを増すばかりです。平和な日常生活を奪われたウクライナ市民は、330万以上が国境を越えて隣国などに逃れました(3月21日時点)。現在もロシアによる無差別な殺戮が続いています。

私が会長を務めるモエレ新体操クラブでウクライナ・キエフ出身のアンナ・ベッソノバさんを講師に迎え、子どものための新体操教室を開催したのは2017年9月のこと。ベッソノバさんは2004年アテネ五輪と2008年北京五輪で銅メダルを獲得した世界的スターで

すが、子どもたちを相手に文字通り手取り足取り熱心な指導をしてくれました。どうしているか気になって調べてみると彼女のInstagram投稿が見つかりました「私は世界を信じています。このホラーを止めてください。親愛なるウクライナ、私たちはウクライナと一緒にいます」

しかし、これは2月26日のもので、戦争が激しさを増してからはこのコンテンツをみることはできません。消息が気になります。

あまりにも非道な侵攻には怒りを禁じえませんが、今の私たちにできることは避難民への人道支援。国は積極的な受け入れを表明しています。日本を取り巻く安全保障環境を考えるととても他人事とは思えません。人道支援の輪を広げていく必要を痛感しています。



子どもたちを指導してくれたベッソノバさん(右)と

中小企業支援を強化 経済再生に向け「賃上げ」加速

コロナ後の経済再生に向け、政府は「成長」と「分配」の好循環による「新しい資本主義」の構築に取り組んでいます。企業に対しては「賃上げ」を重要な柱に位置付け、国民の皆さまにその効果を実感してもらえるよう、令和4年度予算と同税制改正法案の早期成立に全力を挙げています。

賃上げ促進税制を抜本拡充

従業員の賃金引き上げに積極的な企業を支援する「賃上げ促進税制」を、今年4月から抜本拡充します。法人税などから差し引く控除率を、大企業は最大**30%**、中小企業は最大**40%**に引き上げます。

赤字企業の賃上げを支援

賃上げ税制の効果が出にくい赤字企業の賃上げを支援するため、「ものづくり補助金」や「持続化補助金」において、赤字でも賃上げた中小企業・小規模事業者への補助率を引き上げる「**特別枠**」を設けます。